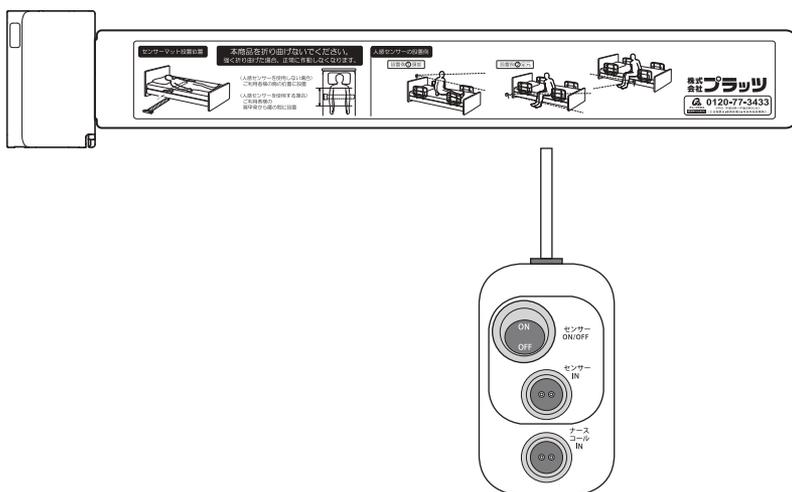


取扱説明書

病院・高齢者施設用離床センサー（有線ナースコール連動タイプ）

PW03-NC シリーズ



〈保証書付〉

このたびは、病院・高齢者施設用離床センサー（PW03-NC シリーズ）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全に正しくお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

保証書は、お買い上げ日・販売店などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

株式会社プラッツ

目次

禁止事項	2
ご使用上の注意	3
免責	4
その他のお知らせ	4
商品の概要と特徴	5
W センサーシステムの仕組み	6
ご使用の前に (PW03-NC シリーズ)	7
各部のなまえと機能	
センサーマット (PW03-SMNC)	8~9
有線分岐ボックス (JC-00 ~)	9
人感センサー (HS2-01)	10
センサーマットのベッドへの設置手順	11~14
ベッドへの取り付け方法	15~19
人感センサーの設置手順	20
ナースコールシステムとの接続手順	21
ご使用方法	
・ご使用方法	22~23
・センサーシステムの一時停止方法	24
省電力モードについて	24
メンテナンス方法	24
仕様	25
トラブルシューティング	26

禁止事項

警告

-  本商品の分解・修理・改造を行わないでください。
火災や感電、けが、故障の原因になります。
-  電源ケーブルを無理に曲げたり、上に重いものを載せないでください。
ケーブルに傷が付き火災・感電、故障の原因になります。
電源ケーブルに傷が付いた場合には、使用しないでください。
-  接続ケーブルを抜くときはケーブルを引っ張らず、必ずプラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、芯線の露出や断線の元になり、感電やけが、故障の原因になります。
-  センサーマットを強く折り曲げたり、刃物等で傷をつけないでください。
センサーマットが正常に作動しなくなります。
-  センサーマットを60°C以上のものに近づけないでください。
-  濡れた手で本商品に触れないでください。
故障、感電の原因になります。
-  本商品に液体をかけたりしないでください。火災・感電、故障の原因になります。
-  結露した状態で使用しないでください。結露した状態で使用すると、火災、感電、故障の原因になることがあります。
-  水などの液体の近くや油の散る場所、湿気やほこりの多い場所では、使用したり置いたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
-  サイドレールやベッド用グリップと使われる場合は、隙間に注意してください。
体や腕をはさまれ怪我をする恐れがあります。
-  本商品は日本国外ではご利用になれません。

ご使用上の注意

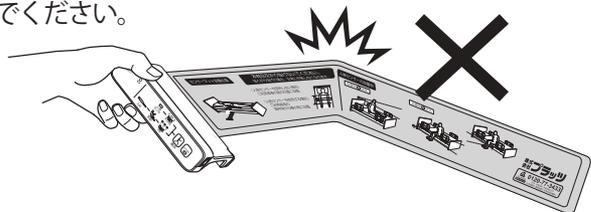
⚠ 警告

⊘ 次のような場所では、使用／保管しないでください。
誤作動や故障の原因になることがあります。

- ・ほこりが多い場所
- ・直射日光のあたる場所
- ・衝撃や振動が加わる場所
- ・落下の可能性がある場所
- ・不安定な場所
- ・熱のこもる場所
- ・暖房器具の近く
- ・水分や湿気の多い場所
- ・磁気を発するものの近く
- ・風の影響を大きく受ける場所

⊘ 本商品を使用する際には、次のことに気を付けてください。

- ・本商品を保管・設置する場合は水や油などの液体及び異物(特に金属)等が接触したり入り込んだりしないようにしてください。
- ・本商品に水などが付着あるいは入り込んだ場合、機器の誤動作や破損の原因になります。
- ・本商品にビニール袋を被せたり、本商品の上に輪ゴムなどを置いたままにしないでください。
本商品の表面が変質する原因となります。
- ・本商品の近くで、飲食・喫煙をしないでください。飲食物や煙草の灰は、故障の原因になります。
- ・薬品を本商品の近くで使用しないでください。
薬品によっては、付着すると本商品が溶けたり、変形することがあります。
ご利用者様の年齢や体調、お使いのベッドのタイプ(エアマット等)によっては、正常に動作しない場合があります。
- ・ベッド離床時、ベッドやその周辺機器に人が触れている場合、センサーマットが離床の検知をしないことがあります。
- ・お使いのマットレスが重すぎる場合、センサーマットがうまく反応しないことがあります。(その際、入床ランプが点滅し続けます。)
- ・本商品を折り曲げないでください。
強く折り曲げた場合、正常に作動しくなりません。



免責

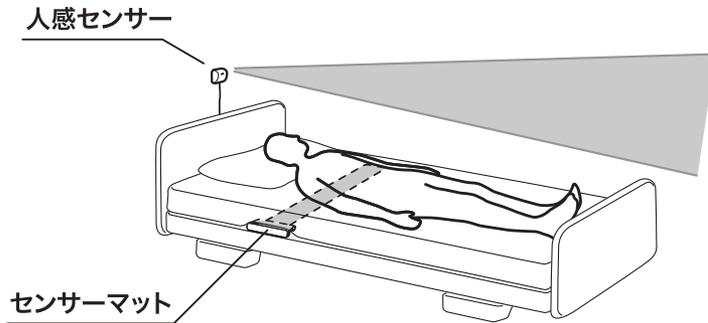
- ・本商品をご利用者様の安全を見守る上での手助けをするものです、転倒、転落を直接的に防止するものではありません。万一発生した人身事故、災害事故等による損害につきましては、弊社は一切責任を負いません。
- ・ナースコールシステムに接続する場合は、必ず指定された分岐ボックスを使用してください。指定以外の分岐ボックスを使用して発生した損害及び事故に関して、弊社は一切の責任を負いません。

その他のお知らせ

- ・本書の内容に関しましては、将来予告なしに変更する場合がございます。
- ・本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不明な点や、誤りなどお気づきになりましたら、弊社までご連絡頂きます様宜しくお願いいたします。
- ・本商品は改良の為、予告なく仕様を変更する場合がございます。
- ・本商品は日本国内での使用のみ保証が適用されます。
- ・本書及び本商品に使用されている社名及び商品名は、株式会社バイオシルバーまたは弊社の商標・登録商標です。

商品の概要と特徴

病院・高齢者施設用 離床センサー (PW03-NC シリーズ) は、ベッドに設置するセンサーマットと、壁面等に設置する人感センサーによる離床情報を、お使いのナースコールにお知らせする離床センサーシステムです。



・Wセンサーシステム

病院・高齢者施設用 離床センサー (PW03-NC シリーズ) は、人体の生体情報を感知する bio sync センサー (※) を内蔵したマットと、人の体温で人の動きを感知する人感センサーを組み合わせることで、誤報を無くし、迅速、確実にご利用者様の離床をお伝えすることが出来ます。

- ・センサーマットはベッドのマットレスの下にセットされるため、ご利用者様がベッド利用時にも違和感がありません。
- ・人感センサーは小型で壁面等に目立たず設置することが出来ます。

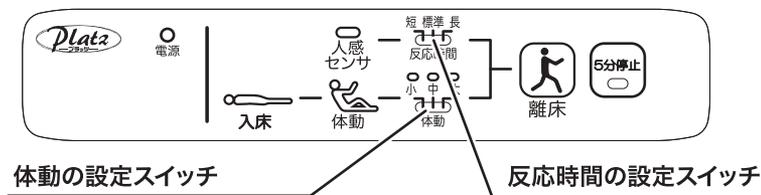
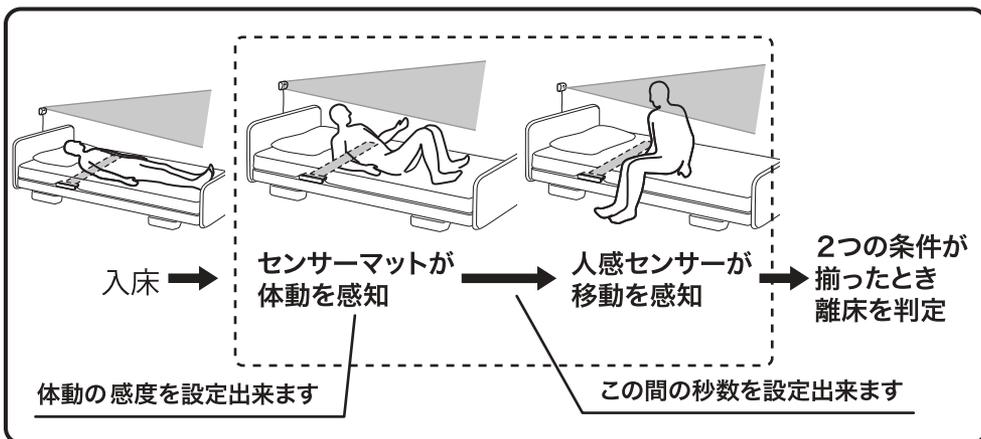
(※) bio sync センサーとは、ご利用者様の心拍・呼吸・体動等の生体信号を感知するセンサーです。

これを内蔵した病院・高齢者施設用 離床センサー (PW03-NC シリーズ) のセンサーマットは、生体信号の有無で離入床を判定していますので、確実に離床をお知らせします。

W センサーシステムの仕組み

センサーマットが離床の前兆の動き(体動)を感知し、さらに人感センサーが設定された秒数(反応時間)以内に実際の移動を感知したとき、離床を判定します。

- 2つの条件が揃わなければ離床と判定されませんので、寝返りなどによる誤報がありません。
また、ご利用者様が安静時にご利用者様以外の方が人感センサーの感知範囲に入っても離床判定しません。
- 体動の感度を体型や寝具など、個人差や状況に合わせ調整することが出来ます。
- 体動の感知から人感センサーの感知までの秒数を個人差や状況に合わせ設定することが出来ます。



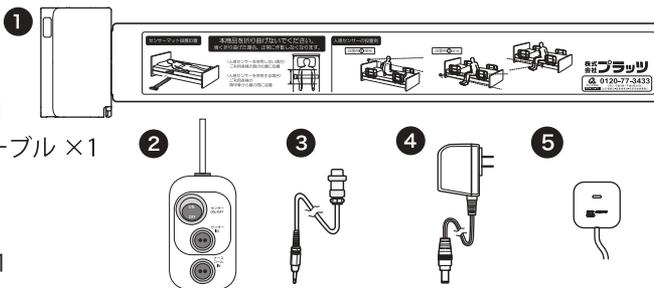
※センサーマット操作部

ご使用前に

PW03-NC シリーズ (AC電源タイプ)

セット内容

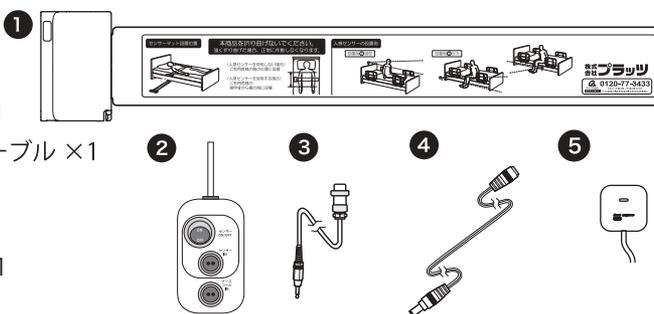
- 1 センサーマット ×1
- 2 有線分岐ボックス ×1
- 3 ナースコール接続ケーブル ×1
- 4 AC アダプター ×1
- 5 人感センサー ×1
- 6 取扱説明書(本書) ×1
- 7 固定ひも ×2



PW03-NC シリーズ (DC電源タイプ)

セット内容

- 1 センサーマット ×1
- 2 有線分岐ボックス ×1
- 3 ナースコール接続ケーブル ×1
- 4 DC 電源ケーブル ×1
- 5 人感センサー ×1
- 6 取扱説明書(本書) ×1
- 7 固定ひも ×2

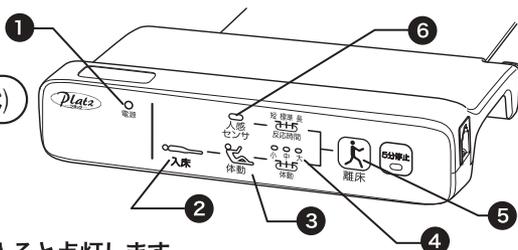


※ ②の有線分岐ボックスは、お使いのナースコールシステムおよびプラグのピン形状によって仕様が異なります。また、改良などにより、形状が異なる場合があります。

各部のなまえと機能

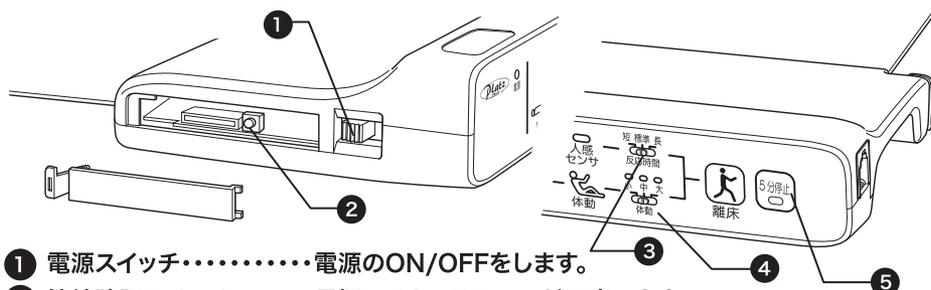
センサーマット (PW03-SMNC)

LED関係



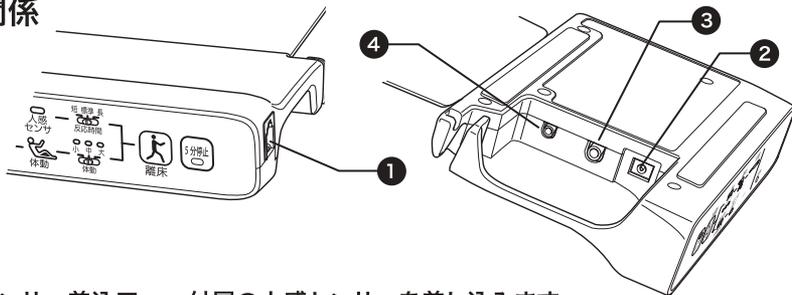
- ① 電源LED(緑)……………電源が入ると点灯します。
- ② 入床LED(青)……………体圧を感知すると点滅し、生体信号を感知すると点灯します。〔人感センサーを使用しない場合〕
心拍・呼吸を15秒間感知すると点灯します。
〔人感センサーを使用する場合〕
- ③ 体動LED(橙)……………設定されたレベル以上の体動を感知すると点灯します。
- ④ 体動レベルLED(橙)……体動の大きさを3段階に表示します。
- ⑤ 離床LED(赤)……………離床を感知すると点灯します。
- ⑥ 人感センサーLED(赤)…人感センサーが反応すると点灯します。
〔人感センサーを使用する場合〕

スイッチ関係



- ① 電源スイッチ……………電源のON/OFFをします。
- ② 接続確認スイッチ……長押しでナースコールが反応します。
- ③ 反応時間設定スイッチ…離床を判定する秒数を調整します。
〔人感センサーを使用しない場合〕
体動を感知してから人感センサーが反応して、離床判定するまでの時間を調整します。〔人感センサーを使用する場合〕
- ④ 体動設定スイッチ……通常使用時は「中」に設定してください。センサーマットの上にマットレスを置き入床LEDが点滅する場合は、「大」に設定してください。〔人感センサーを使用しない場合〕
体動を感知するレベルを調整します。
〔人感センサーを使用する場合〕
- ⑤ 5分停止スイッチ………2秒間長押しすると呼出し機能が5分間停止します。
解除する場合は、再度2秒間長押ししてください。

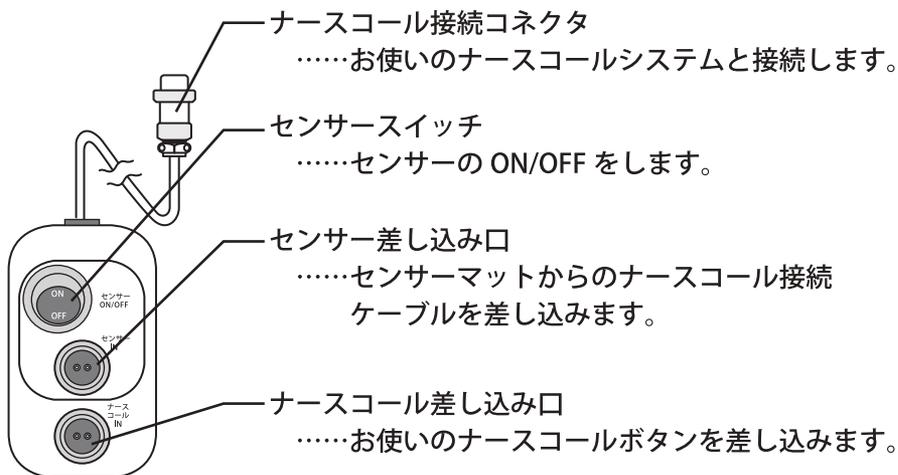
出入力関係



- ① 人感センサー差込口・・・付属の人感センサーを差し込みます。
- ② ACアダプター差込口・・・付属のACアダプター、またはDC電源ケーブルを差し込みます。
- ③ ナースコール出力ケーブル差込口
・・・ナースコール接続ケーブルを差し込みます。
- ④ 一時停止外部入力用差込口
・・・一時停止ボタン(※別売)を差し込みます。

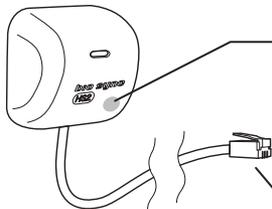
有線分岐ボックス (JC-00 ～)

※改良などにより、下記の形状と異なる場合があります。



※図は JC-10 です。

人感センサー(HS2-01)

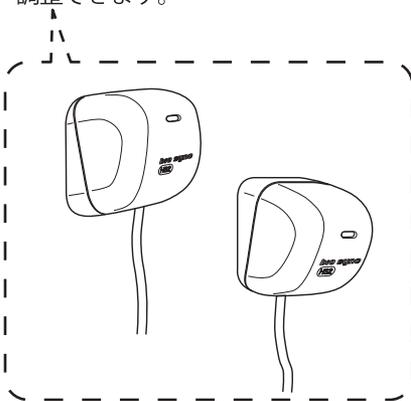
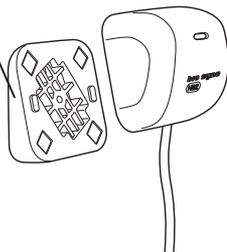


動作確認LED(緑)…反応すると点灯します。

※カバー内部に内蔵されています
(点灯時光りが透過します)。

モジュラーケーブル…センサーマットに
差し込みます。

角度調整アタッチメント…設置方向を変えてセンサー角度を
調整できます。



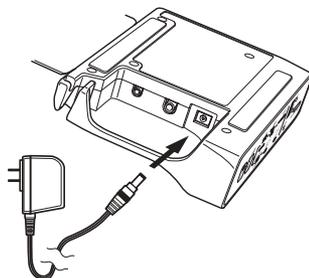
センサーマットのベッドへの設置手順

センサーマットを正常に作動させるために、以下の手順、注意に従い、ベッドへの設置、及び調整を行ってください。

人感センサーを使用しない場合

1. センサーマットにACアダプターを差し込みコンセントに差し込みます。

※DC 電源ケーブルをご使用の場合は、
15～19 ページを参照ください。

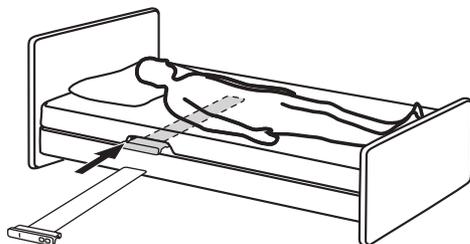


2. ベッドのマットレスの下にセンサーマットを設置します。
ご利用者様の胸の位置に設置してください。

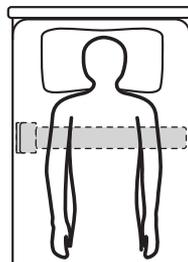
※マットレスは厚さ18cmまで対応しています。

※ウォーターベッド、一部のスプリングマット、一部の褥瘡予防マット、
エアーマット等ご利用になれない場合がございます。

※必要に応じて、固定ひもで固定してください。

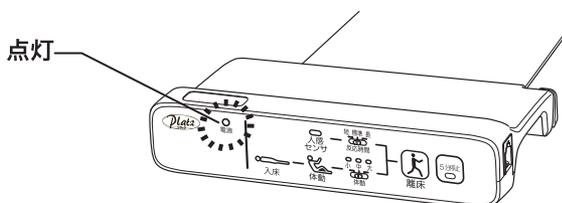


胸の位置
に設置



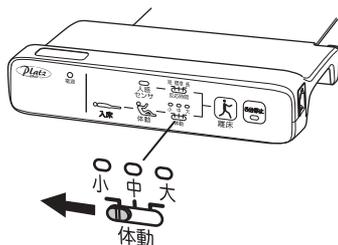
3. 電源スイッチを入れます。

※電源が入ると、電源LEDが点灯します。



4. センサーマットの上にマットレスを置いただけで入床LEDが点滅する場合は、体動感度を「大」に設定してください。

※体動感度を「大」に設定しても点滅が続く場合は、別のマットレスに交換して使用してください。

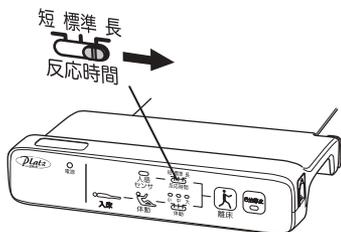


5. ご利用者様の動き等に合わせて必要に応じ反応時間スイッチで反応時間を設定します。

※「標準」は体を起こしてから3秒後に離床と判定します。

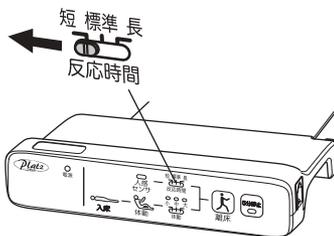
設定例 ①

反応時間を「長」に設定した場合は、体を起こしてから4秒後に離床と判定します。



設定例 ②

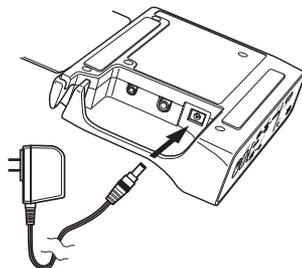
反応時間を「短」に設定した場合は、体を起こしてから2秒後に離床と判定します。



人感センサーを使用する場合

1. センサーマットにACアダプターを差し込みプラグをコンセントに差し込みます。

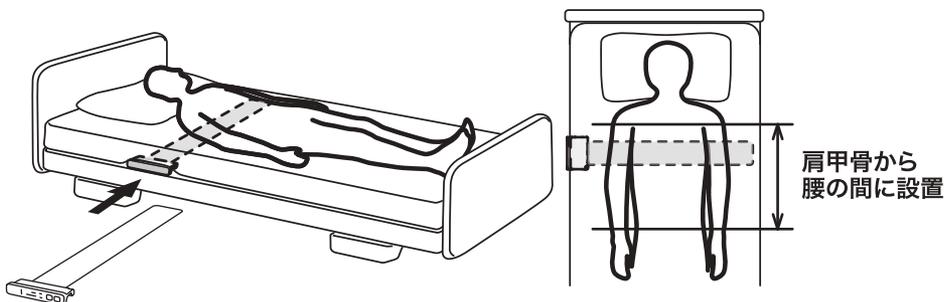
※DC電源ケーブルをご使用の場合は、15～19ページを参照ください。



2. ベッドのマットレスの下にセンサーマットを設置します。
ご利用者の肩甲骨から腰の間に設置してください。

※マットレスは厚さ18cmまで対応しています。

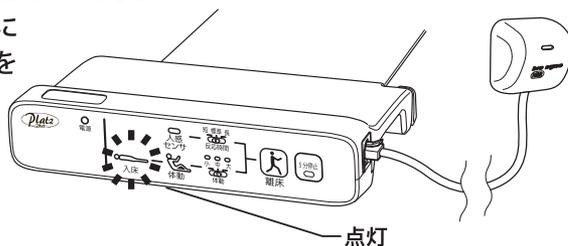
※ウォーターベッド、一部のスプリングマット、一部の褥瘡予防マット、一部のエアーマット等ご利用になれない場合がございます。



3. 電源スイッチを入れます。

※電源が入ると、電源LEDが点灯します。

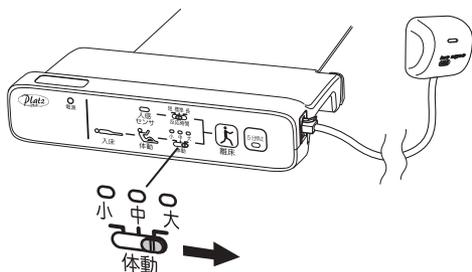
※人感センサーの設置につきましては、P20を参照してください。



4. ご利用者様の体型や寝具に合わせて必要に応じて体動設定スイッチで体動感知の感度を設定します。

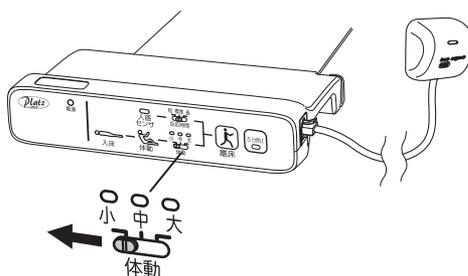
設定例 ①

ご利用者様が安静時に体動LEDが点灯する場合、体動感度を「大」に設定します。



設定例 ②

ご利用者様が寝返りをしても体動LEDが点灯しない場合、体動感度を「小」に設定します。

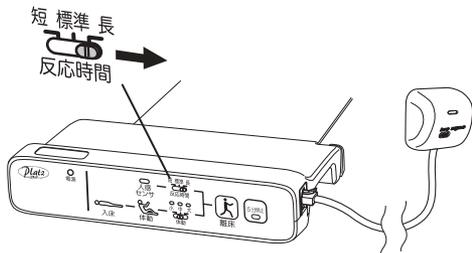


5. ご利用者様の動きや人感センサーの設置位置に合わせて必要に応じ反応時間スイッチで反応時間を設定します。

※「標準」は体動があつてから10秒以内に人感センサーに反応があつた場合、離床と判定します。

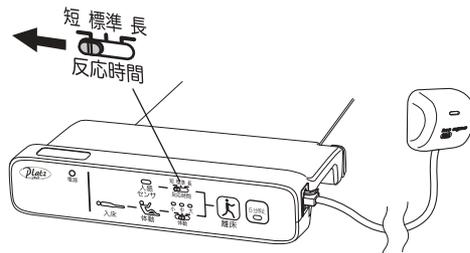
設定例 ①

人感センサーを足元に設置する場合は、反応時間を「長」に設定します。
※「長」は30秒以内に設定されます。



設定例 ②

頭部付近に設置、または感知時間が短い場合、反応時間を「短」に設定します。
※「短」は5秒以内に設定されます。



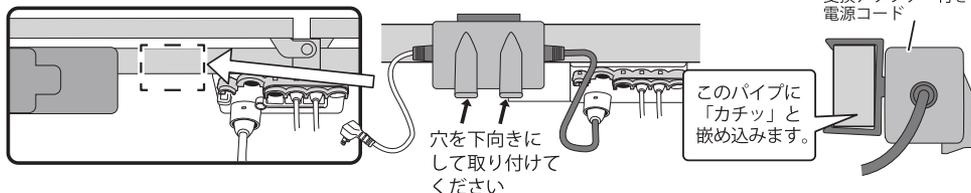
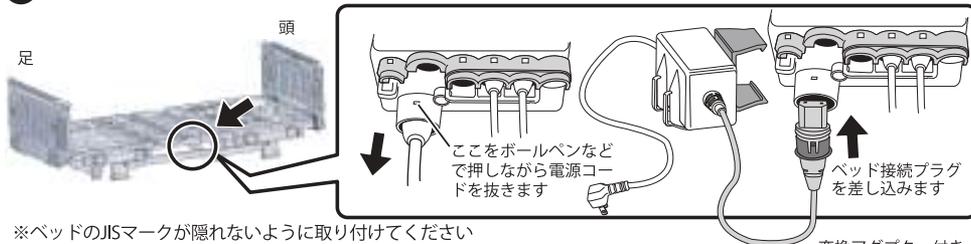
※DC電源ケーブルをご使用の際には、変換アダプター付電源コードが必要となります。下記のベッドに対応した方法での取り付けを行ってください。

ベッドへの取り付けの前に

- ①ご利用様はベッドから降りていただき、マットレスも降ろします
- ②ベッドの電源プラグを抜きます

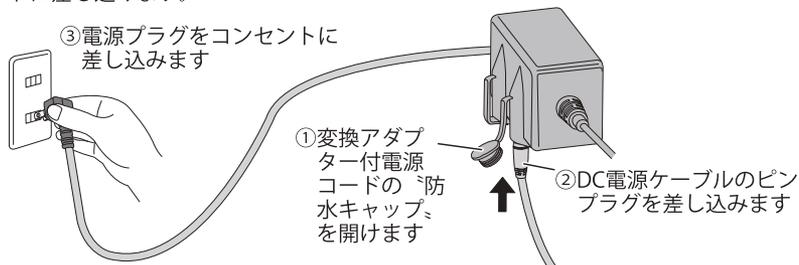
P 100 (ミオレット フォーユー) シリーズに取り付ける場合

- ① センターフレーム下図位置の電源部の変換アダプター付電源コードに入れ換えます。



全機種共通

- ② DC電源ケーブルのピンプラグを変換アダプター付電源コードに差し込み、電源プラグをコンセントに差し込みます。

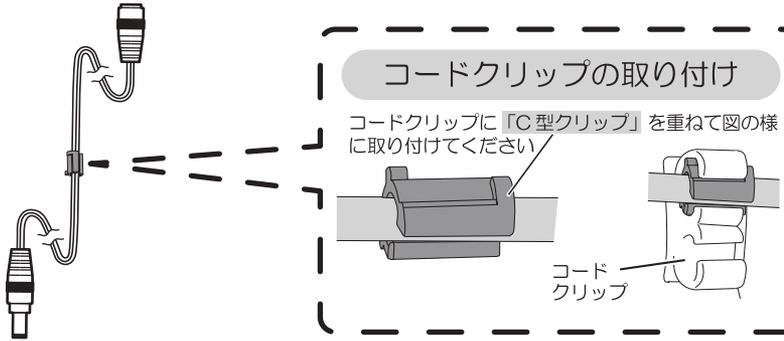


注意

ベッド操作時にコードが駆動部に巻き込まれないように注意して、コードの配線をしてください。

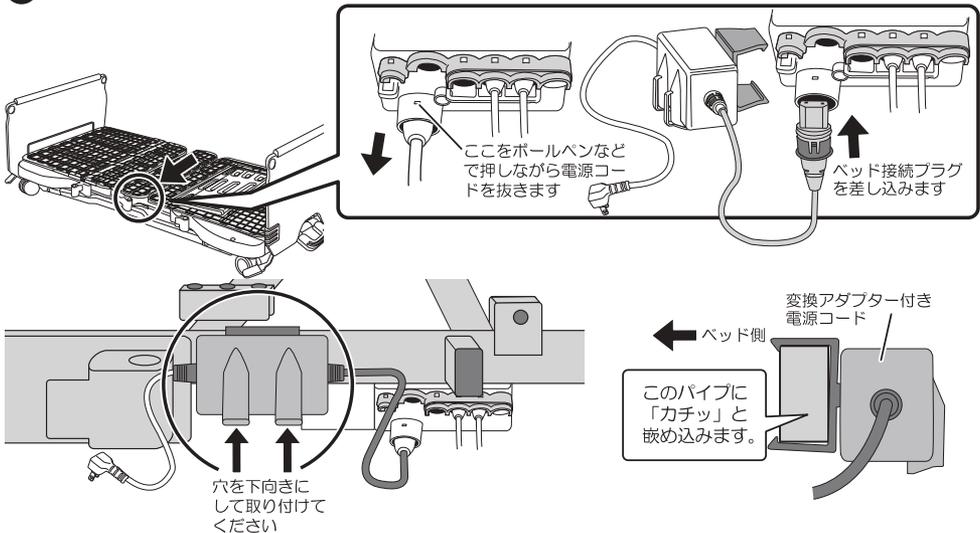
コードの取り返し

DC 電源ケーブルに取り付けられた「C 型クリップ」を各種ベッドに取り付けられたコードクリップに取り付けてください。



P101(アルティレット トゥーキュー)シリーズに取り付ける場合

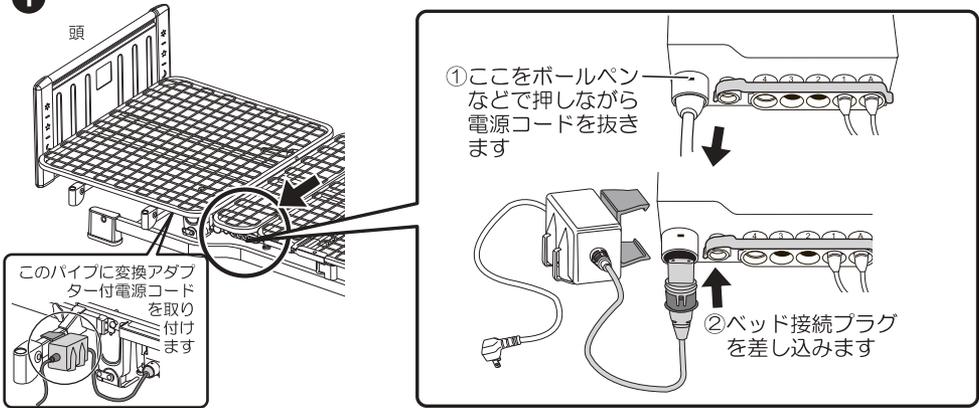
- 1 センターフレーム下図位置の電源部の電源コードを変換アダプター付電源コードに入れ換えます。



15 ページ **2** を参照して DC 電源ケーブルのピンプラグを変換アダプター付電源コードに差し込み、電源プラグをコンセントに差し込みます。

P106(ミオレットII)シリーズに取り付ける場合

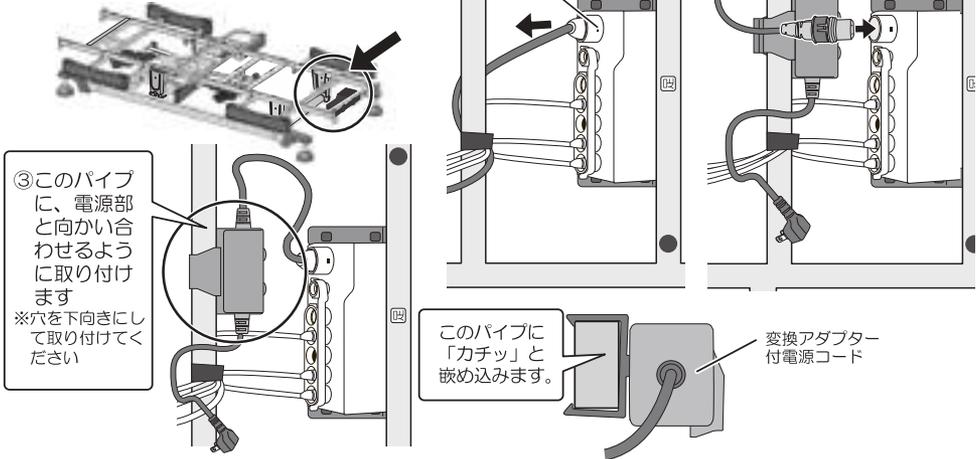
- ① センターフレーム下図位置の電源部の電源コードを変換アダプター付電源コードに入れ換えます。



15 ページ②を参照して DC 電源ケーブルのピンプラグを変換アダプター付電源コードに差し込み、電源プラグをコンセントに差し込みます。

P109(アルティレット)シリーズに取り付ける場合

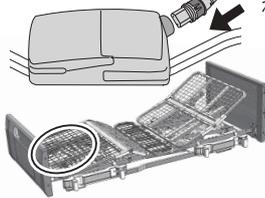
- ① センターフレーム下図位置の電源部から電源コードを抜き、変換アダプター付電源コードのベッド接続プラグを差し込みます。変換アダプター付電源コードをベッドに取り付けます。



15 ページ②を参照して DC 電源ケーブルのピンプラグを変換アダプター付電源コードに差し込み、電源プラグをコンセントに差し込みます。

P110(ラフィオ)シリーズに取り付ける場合

- 1** フットフレーム下図位置の電源部の電源コードを変換アダプター付電源コードに入れ換えます。



- 2** 変換アダプターの差込穴を下向きにしてパイプに取り付けます。

この場所に取り付けてください



電源部
穴を下向きにして取り付けてください

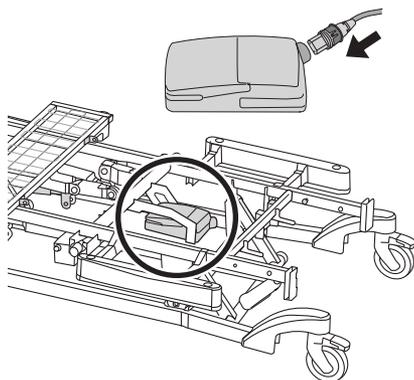
⚠ 確認

超低床用キャスター (PC01-5CK) 使用時には、ご使用いただけません。

15 ページ **2** を参照して DC 電源ケーブルのピンプラグを変換アダプター付電源コードに差し込み、電源プラグをコンセントに差し込みます。

P300(医療・施設用電動ベッド)シリーズに取り付ける場合

- 1** センターフレーム下図位置の電源部の電源コードを変換アダプター付電源コードに入れ換えます。



- 2** 変換アダプターの差込穴を下向きにして下記の場所に取り付けます。



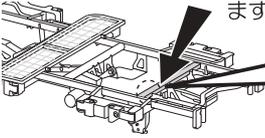
変換アダプター

このパイプに「カチッ」と嵌め込みます。

15 ページ **2** を参照して DC 電源ケーブルのピンプラグを変換アダプター付電源コードに差し込み、電源プラグをコンセントに差し込みます。

P400(アーデル)シリーズに取り付ける場合

- ① センターフレーム下図位置に変換アダプター付電源コードを取り付けます。



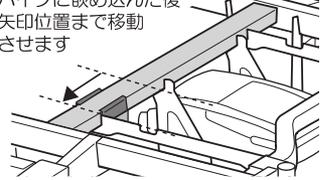
このパイプに「カチッ」と嵌め込みます。

変換アダプター付電源コード

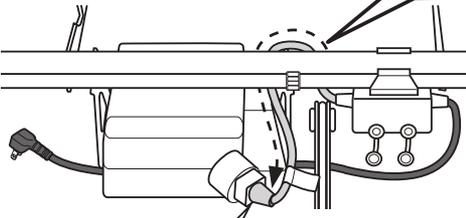
プラグ取り付け穴を頭側に向けて取り付けてください



パイプに嵌め込んだ後矢印位置まで移動させます

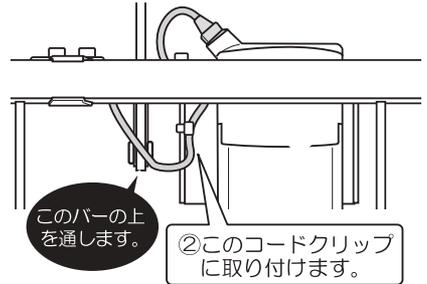


- ② 電源部の電源コードを抜き、変換アダプター付電源コードを挿し込んでください。



①電源部に挿し込みます。

〈上から見た図〉



このバーの上を通します。

②このコードクリップに取り付けます。

15 ページ ② を参照して DC 電源ケーブルのピンプラグを変換アダプター付電源コードに差し込み、電源プラグをコンセントに差し込みます。

各ベッドへの取付方法は下記 QR コードからご覧いただけます

※QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です



ホームページでもご覧いただけます

<http://www.platz-ltd.co.jp/support/manual/index-jinkan.html>

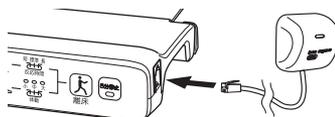
人感センサーの設置手順

人感センサーは裏面にマグネットを内蔵していますので、金属製のベッドボトム等には、そのまま設置できます。壁面等には付属の両面テープにて設置してください。

※人感センサーに角度調整アタッチメントを使用の際は、マグネットによる取り付けが出来ないため、付属の両面テープにて設置してください。

※人感センサーは反応すると内蔵のLEDが点灯しますので、電源を入れた状態で反応状況を確認しながらの設置をお勧めいたします。

1. センサーマットに人感センサーのケーブルを差し込み、電源を入れます。

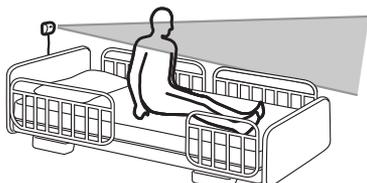


2. 反応させたいタイミングによって人感センサーの設置位置を決めます。

設置例 ① 頭部

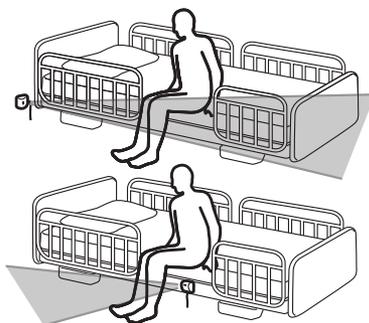
上体を起こした時に反応させたい場合は、頭部側に設置します。

※頭部側に設置する場合、寝返りで反応しない位置に設置してください。



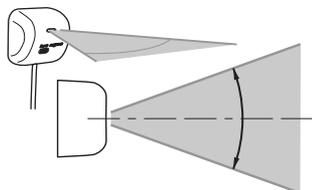
設置例 ② 足元

ベッドから足を下ろした時に反応させたい場合は、足元に設置します。

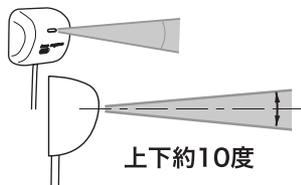


人感センサーの感知範囲

左右方向の方が上下よりも広い感知範囲が設定されています。

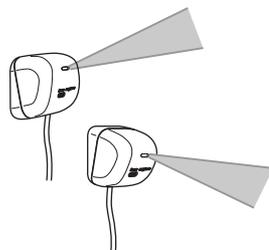


左右約40度



上下約10度

角度調整アタッチメントを取り付けることで、上下方向それぞれ、約15度の角度調整ができます。



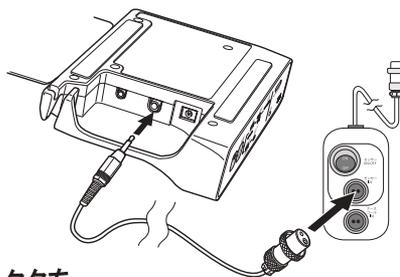
ナースコールシステムとの接続手順

ご使用のナースコールシステムに接続、離床をお知らせします。

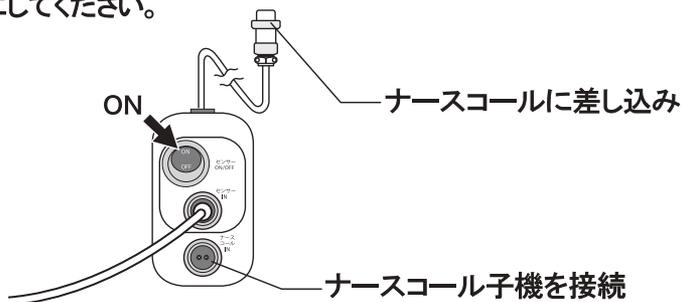
※ケーブルの抜き差しは電源OFFの状態で行ってください。

電源ONのままスイッチ切替、プラグの抜き差しを行うと故障の原因となります。

1. ナースコール接続ケーブルをセンサーマットのナースコール出力ケーブル差込口と、有線分岐ボックス差し込み口にそれぞれ差し込みます。
※必ず付属の有線分岐ボックスを使用してください。



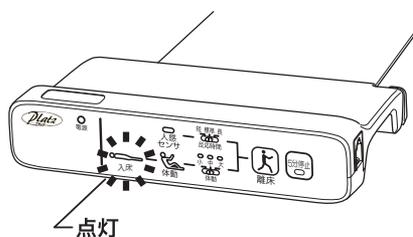
2. 有線分岐ボックスのナースコール接続コネクタをお使いのナースコールに差し込み、センサースイッチをONにしてください。



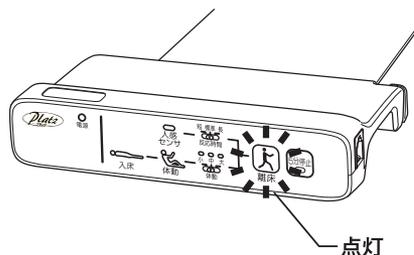
ご使用方法

人感センサーを使用しない場合

1. センサーマットの電源を入れます。
2. ご利用者様がベッドの上に寝ると
センサーマットが生体信号と体圧を感知します。
※体圧を感知するとセンサーマットの入床 LED が点滅します。
呼吸の生体信号を感知するとセンサーマットの入床 LED が点灯します。

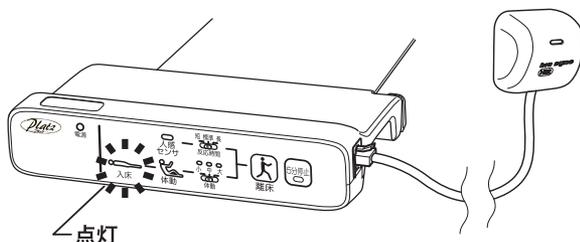


3. 下記の状態になった時、離床を判定しお知らせします。
※入床中にご利用者様が起き上がり、体圧を感知しなくなった時。
もしくは、心拍の生体信号を感知しなくなった時。
4. 離床を判定すると、センサーマットの離床LEDが点灯し、
お使いのナースコールシステムへお知らせします。

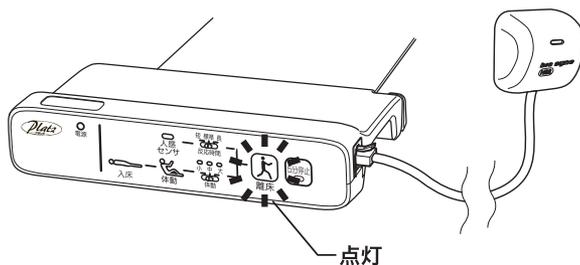


人感センサーを使用する場合

1. センサーマットの電源を入れます。
2. ご利用者様がベッドの上に寝るとセンサーマットが生体信号を感知します。
※15秒間感知されると、センサーマットの入床LEDが点灯します。



3. 下記の状態になった時、離床を判定しお知らせします。
※入床中にご利用者様が起き上がる動作を感知し、
更に、設定した時間内に人感センサーに反応があった時。
4. 離床を判定すると、センサーマットの離床LEDが点灯し、
お使いのナースコールシステムへお知らせします。



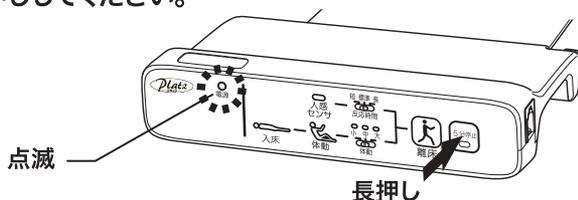
5. 再びベッドからの生体信号を感知すると入床状態に復帰します。

センサーシステムの一時停止方法

ご利用者の移動時等、一時的にセンサーシステムを停止させたい場合、以下の操作を行います。

センサーマットの5分停止スイッチを2秒間長押しするとアラームの機能が5分間停止します。

- ※一時停止中は電源LEDが点滅します。
- ※上記の停止時間以内に通常見守り状態に復帰する場合は、もう一度センサーマットの5分停止スイッチを2秒間長押ししてください。



省電力モードについて

センサーマットは無操作2分が経過した場合、電源LEDが減光し、その他のLEDは消灯します。

- ※アラームが発生したり、反応時間設定スイッチと体動設定スイッチを除くいずれかのスイッチを押すと、省電力モードから復帰します。

メンテナンス方法

お手入れの際には電源を切り、コンセントおよびセンサーマット、または DC 電源ケーブルを抜いた状態にして行ってください。

- 機器の表面を拭く場合は薄い中性洗剤を含ませた柔らかい布をよく絞ってご使用ください。
 - ※濃いアルコール、シンナー、ベンジンなどは印刷等への損傷を招くため使用しないでください。
 - ※化学雑巾を使用する際は、その注意書きに従ってください。
- 定期的に各機器の動作の確認を行ってください。

仕様

1. センサーマット PW03-SMNC

項目		仕様
全般	外形寸法	樹脂ケース部 140 x 30 x 90 mm マット部 710 x 100 x 10 mm
	重量	395±20g
	使用環境温度	-5~40°C
	使用環境湿度	15%~85%RH
	保存環境温度	-10~60°C
電気	電源電圧	5.0±0.5V(ACアダプター)
	消費電流	1A以下

2. 人感センサー HS2-01

項目		仕様
全般	外形寸法	40×40×24 mm(センサー単体) 40×40×33 mm(角度調整アタッチメント込み)
	重量	78±5g
	使用環境温度	-5~40°C
	使用環境湿度	15%~85%RH
	保存環境温度	-10~60°C
電気	電源電圧	3.1~3.5V
	消費電流	15mA(※センサーマット接続時)
検出範囲		・垂直方向 約10度 ・水平方向 約40度

3. 有線分岐ボックス (JC-00~)

項目		仕様
全般	外形寸法	49×85×35 mm

トラブルシューティング

1. センサーマットについて

症状	原因	方法
離床しても離床にならない (離床LEDが点灯しない)	電源が入っていますか	電源を入れてください
	周囲の振動の影響が考えられます	周囲の環境を確認してください
体動を起こしていないのに 体動LEDが点灯する	体動の設定が適正でない	体動の感度を「標準」か「大」にしてください
体動を起こしているのに 体動LEDが点灯しない	体動の設定が適正でない	体動の感度を「標準」か「小」にしてください
寝ているのに入床LEDが点灯しない	正しい位置に設置されていない	正しい位置に設置してください
ベッドに誰もいないのに入床LED が点灯する	周囲の振動の影響が考えられます	周囲の環境を確認してください

2. 人感センサーについて

症状	原因	方法
寝返りをしただけで人感センサー が反応する	設置位置が適正でない	設置位置を調整してください
動いていないのに人感センサーが 反応する	日光や照明、他機器のリモコンの赤 外光等を感知している	周囲の環境を確認してください
人感センサーが反応しない	ケーブルが接続されていない	ケーブルを正しく接続してください
	周囲との温度差が小さい	4°C以上の温度差が必要です

3. 有線分岐ボックスについて

症状	原因	方法
ナースコールと連動しない	スイッチがONになっていない	スイッチをONにしてください
	ケーブルが接続されていない	ケーブルを正しく接続してください

株式会社 **プラッツ**

〒816-0921

福岡県大野城市仲畑2丁目3-17



0120-77-3433

☎ 無料・国内専用

携帯・PHS・OK

《平日 午前9時～午後5時30分》

(土日祝祭日・夏季休業日・年末年始休業除く)

'18. 12月作成

NP0224-Z